

# 祝子の風

黒岩小中学校学校だより

H29.9.25  
No. 5  
文責：校長

みんなちがって、みんないい

これは、有名な金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」の一節です。2学期の始業式で、小学部3・4年生全員に音読してもらいました。

この詩を通して金子みすゞは何を訴えたかったのでしょうか。1学期に、容姿等のことで友だちをからかい、嫌な思いをさせることがあります。それぞれの個性や長所を認められる集団になれると良いですね。

わたしと小鳥とすずと  
わたしが両手をひろげても、  
お空はちつともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのように、  
地面(じべた)をはやくは走れない。  
わたしがからだをゆすつても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのように  
たくさんのうたは知らないよ。  
すすと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんなない。

## 渡辺修二詩碑祭に参加

九月九日(土)に、詩碑前広場におい

ました。地元出身の詩人ということで、黒岩小中の児童生徒が招待され、元気に校歌を歌いました。

いの日の前日にふるさと学習を行ない、宮崎市から本多寿(ひさし)氏をお招きし、渡辺修三のことについて学習しました(小3～6、中1～3)。

詩碑祭の午後にふたば賞（詩作展）表彰式があり、1年佐藤練君が中学の部最高賞を受賞しました（185篇中18篇が入選）。おめでとうございます。

約 150 名の参加者の前で、渡辺修三が作詞した校歌を、児童生徒が元気に歌いました。

## 小学部が宿泊学習・遠足

九月二二～二三日に5・6年生の

1日目夜の「キャンドルのつどい」のようです。

二日目は、あいにくの雨となり、外活動はできませんでしたが、室内で楽しく創作活動を行いました。全員が頂上に登ることができました。員で協力し合い充実した宿泊学習になりました。



1日目夜の「キャンドルのつどい」のようすです。

**秋季大会で大健闘!**

九月二三・二十四日は延岡地区中学校秋季体育大会が行われ、本校中学部1・2年生も卓球競技に参加しました。3年生が引退して初めての中体連でしたが、各自が自分の力を十分に出し切り、粘り強く最後まで闘っていました。六月の大会から比べると、かなり成長していました。これから課題を克服し、来年夏の大会に向け、がんばってください。





パトカーや白バイについて説明を受けました。この後、実際に一人一人白バイにまたがらせてもらいました。

校長室より

夏休みが終わり、全員元気に2学期を迎えるました。夏休み中は、ブール開放などで保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。子どもたちからは、いろんなところに遊びに行ったり、家族の行事があつたりと楽しかった思い出話をたくさん語られました。昔のCMにもありましたが「ものよりもいましたが「ものより思い出」ですね。

中二の碧翔さんが七月末にジュニア科学者の翼に参加し、東京方面で最先端の科学技術に触れてきました。また中三の愛莉さんがこども議会に参加し、本物の議場で堂々と質問しました。ともに良い経験になつたと思います。今後もいろいろなことにチャレンジさせます。